

# 知覚動考

寒河江市立南部小学校  
校長室だより  
校長 白田 敏幸

「誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり」

日々の授業ありがとうございます。子供の実態に合わせて、そして、先生方の教育観のもと、様々な実践をしてくださっていることに感謝いたします。

さて、今更ですが、子供たちにとっては、学校生活のほとんどが授業です。その授業の在り方によって学校が楽しいものになるか、安心できる居場所となるのかが大きく影響してきます。そこで、「授業で大切にしたいこと」について、私なりに思っていることを紹介します。

## 授業で大切にしたいこと

### ①失敗感を与えない

「『授業者がもっている正解』を探すゲーム」になることなく、子供自身が自分の考えを話せる時間でありたい。

### ②言葉を大事にする

言葉が思考の手がかりになる。(思考力の向上のためには語彙力が不可欠)  
言葉で人を育てる。

子供が言葉で自分自身を振り返るようにしたい。(メタ認知力)

### ③話し合いは自由に動くことも可

協働的な学びの中で子供は育つ。

他者に学ぶ姿勢を育てる。(わからない時は聞ける。自分も人の役に立てる。)

子供同士の関係がうまくいっていないところで学習は成立しない。

### ④楽しい(子供にとっても授業者にとっても)授業をつくる

動きのない授業に楽しさはない。

授業者の都合で、子供を我慢(じっと座って話を聞かせるのみ)させない。

### ⑤一人一人の子供をみとる目を大事にする

同じ子供の姿でも、みとる目をもっているかどうかで、授業者の次のパフォーマンスが違ってくる。

子供のよさをどれだけみとり、価値づけることができるか。

※ 教師が、子供を「信頼し、任せて、支える」という経験を蓄積していくことによって、少しずつ手放していけるようになります。(主体的・協働的な学びの実現)